

# 地域住民参加型の防災訓練を実施

平成20年度県中地方鏡石町総合防災訓練が、町公民館、鳥見山公園周辺を会場に9月7日(日)実施されました。今回の訓練は、震度7相当を想定し、地域住民参加型の防災訓練として行われました。今月号では、訓練内容をお知らせするとともに、災害に備えるための家族会議の機会づくりを提案します。

## 会場を2つに分けて実施

15年振りの鏡石町での開催となった、県中地方鏡石町総合防災訓練は、9月7日(日)関係機関、町民のみなさん約1,050人が参加して実施されました。

## 震度7を想定する訓練

訓練は、震度7相当の激しい揺れにより、家屋の倒壊や火災の発生、多重事故の発生、電力、電信などのライフラインに甚大な被害が発生したことを想定しました。

## 防災無線受信機の電池交換を忘れずに

りの近いところに潜んでいます。この機会にみなさんのご家庭でも、災害に備える準備について話し合ってみてはいかがでしょうか。

町では、各家庭に1台の防災無線個別受信機を貸し出しています。受信機は、停電時のために電池でも作動するようになっています。電池が切れていたり、故障していたりしては非常に大切な情報を聞くことは出来なくなってしまいます。一度、ご家庭の受信機を確認してみてください。問い合わせ先

町総務課

☎ 62 2111



初期消火の基本となるバケツリレー



須賀川消防本部からはしご車が出動し、25mの高さから放水。



県警本部災害警備先遣隊モトクロス班が出動し、災害状況を災害本部に報告。

## 被害状況を的確に把握



被害状況の報告を受ける訓練本部。災害ではいち早く被害状況の把握が求められる。

## タンクローリー事故対応訓練



大規模な地震により道路脇の電柱と衝突したタンクローリーから流れ出した軽油を土嚢で流出を防ぎ、消火器で消火活動を実施。

## BC災害対応訓練



BC(生物、化学)物質による災害を想定した訓練。テロ活動を予測し、防護服に身を包んだ隊員が症状を確認する。

## 炊き出し・給水訓練



被災住民などのため、自衛隊が炊いたご飯をおにぎりにして提供する。健康推進員が協力して調理。



## 初期消火、倒壊家屋からの救出訓練

大規模災害により町内各地で火災が発生し、倒壊家屋に挟まれた住民を、パールや車のジャッキを使って救出する。近所の住民が互いに声を掛け合い避難、誘導、初期消火、応急救護活動を実施。身近な物を役立てて災害に対処する訓練。

## 延焼防止水幕放水訓練

須賀川消防署のはしご車、町消防団ポンプ車による放水訓練を実施。強風による延焼拡大防止を図る。



レスキュー隊による車両からの救出訓練

## AED応急手当等の救急訓練

消防職員が参加者に対し、AEDを使用した救急法、応急手当を実施する。

